

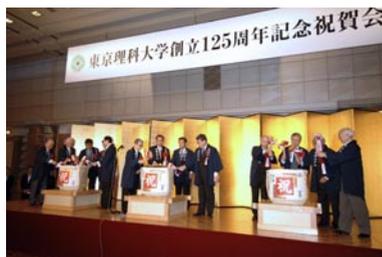
創立 125 周年記念式典・祝賀会（H 18.06.14 開催）



記念式典には 650 名以上が参列。竹内伸学長が式辞を述べ、続いて本学管弦楽団による校歌演奏、その後、小坂憲次・文部科学大臣（近藤信司文部科学審議官代読）、大沼淳・日本私立大学協会会長、黒川清・日本学術会議会長から祝辞をいただいた。その他各方面からの祝電が披露され、塚本桓世理事長が謝辞を述べた。



記念祝賀会には各界から 1,200 名を超える出席があった。塚本桓世理事長が開会の挨拶を述べ、二階俊博・経済産業大臣、安西祐一郎・日本私立大学団体連合会会長、北城恪太郎・経済同友会代表幹事から祝辞いただいた。



記念式典に続く祝賀会での鏡開き。相澤益男・東京工業大学長から乾杯のあいさつをいただいた。



本学管弦楽団による校歌演奏。背後に掲げられている文字は、本学卒業生である書道家武田双雲氏の揮毫。



本学卒業生の書道家 武田双雲氏による力強い記念揮毫。

創立 125 周年記念祭 （H 18.06.17～18 開催）

平成 18 年 6 月 17 日・18 日の 2 日間にわたって、創立 125 周年を記念する学生主催の記念祭が、神楽坂・野田・久喜の各キャンパスで開催された。

【神楽坂キャンパス】



学内に 125 周年の賑わいを添えた模擬店。



近隣の子供達も気軽に参加できる各種イベント。



飯田橋街頭を盛り上げた吹奏楽団の演奏。

【野田キャンパス】



様々な国の文化を紹介した国際交流の集い。



学長杯・理事長杯をめぐって熱戦が繰り広げられたスポーツフェスティバル。



夜空を鮮やかに彩った花火大会。

【久喜キャンパス】



株式会社メガネドラッグ代表取締役社長 森野義男氏による「お客様の視点」をテーマにした記念講演会。同日に、日本語ワープロの開発者であり、本学専門職大学院教授でもある森健一氏の「日本語ワードプロセッサの研究開発とその社会的影響」をテーマとした講演会も開催された（6/17）。



第53回全日本吹奏学コンクールにおいて銀賞を受賞した久喜東中学校吹奏学部の演奏（6/17）。



気象予報士 木原実氏による「お天気キャスターの独り言」をテーマとしたトークショー。同日に、本学卒業生の地球・先史文明研究家 浅川嘉富氏による「恐竜と共に滅びた文明」をテーマに講演会が行われ、続いて小説家 室井佑月氏による「男らしさ 女らしさ」をテーマとしたファイナルイベントが開催された（6/18）。

サイエンスフェア（H 18.06.17～18 開催）

平成18年6月17日・18日の2日間にわたって、創立125周年記念イベントとして日本科学未来館でサイエンスフェアが開催され、約4,100名の来場者があった。

1階の「サイエンスラボ」では、本学教員自身による解説や体験型の展示が開催され、7階の「みらい研究室」では、学生による実験セットが子供達に人気を博した。

また、JAXA宇宙教育センター長の的川泰宣氏と本学卒業生の楠田枝里子氏による記念講演会も行われ、多くの聴衆が聞き入った。



本学の様々な分野の研究室が結集した1階のサイエンスラボ。研究者自身による解説や体験型の展示が行われた。



ジャイロ体験の様子（サイエンスラボ）。



熱戦が繰り広げられたロボットウォーズ（みらい研究室）。



人工イクラ作りの体験（みらい研究室）。



記念講演会「古代の遺跡から、宇宙まで」の様子。国産人工衛星“はやぶさ”による小惑星“イトカワ”の探査に携わっている的川泰宣氏を講師に迎え、「はやぶさ・日本・未来」と題した講演会が行われた。続いて、本学卒業生であり、エッセスト・司会者として活躍している楠田枝里子氏による「世界遺産『ナスカの地上絵』の謎を追って」と題した講演会も開催された(6/18)。

寄付者銘板除幕式（H 18.06.02）

平成 18 年 6 月 2 日、野田キャンパスのカナル会館で創立 125 周年記念事業募金寄付者銘板の除幕式が行われた。この第一期銘板には、平成 15 年 11 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日に個人で 10 万円以上の寄付を賜った 1,054 人の芳名を刻した。



野田キャンパスのカナル会館で行われた 125 周年記念事業募金寄付者銘板除幕式の様子。左から児島理窓会幹事長、森野維持会長、塚本理事長、竹内学長、福田基礎工学部長。



基礎工学部創設 20 周年記念式典・記念行事（H 18.06.24 開催）

平成 18 年 6 月 24 日、長万部キャンパスにおいて創立 125 周年記念事業の一環として、基礎工学部創設 20 周年を祝う記念式典と記念行事が開催された。記念式典には、長万部町の方々、本学学生・教職員が出席した。

式典に続いて、宇宙飛行士 毛利衛氏による記念講演会や本学卒業生と学生によるパネルディスカッション、記念植樹等も行われた。

また、記念式典、特別記念講演会、パネルディスカッションの様子は、長万部・野田・神楽坂のキャンパスを学内ネットワークで結んで同時中継された。



長万部キャンパスで行われた基礎工学部創立 20 周年記念式典の様子。塚本桓世理事長と竹内伸学長が長万部キャンパスでの全寮制教育を充実させていきたいこと、全人的教育を本学の誇りとしていくこと等を挨拶として述べた。



宇宙飛行士・毛利衛氏による「宇宙から見た生命のつながり～我々はなぜ挑戦し続けるのか～」と題した記念特別講演会。



「今、何をなすべきか・・・」をテーマとし、卒業生起業家と学生によって行われたパネルディスカッションの様子。

記念植樹の様子。

創立 125 周年記念「ホームカミングデー2006 ―新たな絆―」 (H 18.10.08 開催)

本学と同窓会組織「理窓会」の共催で、平成 18 年 10 月 8 日、野田キャンパスにおいて創立 125 周年を記念するホームカミングデーが開催された。卒業生と大学関係者約 3,000 人が出席し、記念講演会やコンサートなどのイベントも開催された。



野田キャンパスのカナル会館で行われた祝賀パーティー。



開会式で演奏する本学吹奏楽部。

工学部第二部開設 30 周年記念講演会・祝賀会 (H 18.11.11 開催)

本学が 125 周年を迎えた平成 18 年は、工学部第二部が開設 30 周年を迎えた年でもあり、平成 18 年 11 月 11 日にこれを記念する行事として講演会と祝賀会がホテルグランドパレスにおいて行われた。



工学部第二部開設 30 周年記念講演会で講演する沖塩荘一郎名誉教授（左写真）と杉田利男名誉教授（右写真）。工学部第二部開設時のエピソードや専門分野における最新の話題を紹介した。

創立 125 周年を迎えるにあたってのプレイベント

【神楽坂キャンパス】

平成 17 年 10 月 16 日に神楽坂まち飛びフェスタ 2005 が開催され、本学からは「神楽坂アドベンチャー」と「サイエンス夢工房」の企画が参加した。



子供達から好評を博したサイエンス夢工房。



創立 125 周年記念事業の成功を誓い合ったスタッフおよび学生達の慰労会の様子。

〈坊ちゃん、赤シャツ 100 年目の和解〉

創立 125 周年記念事業の成功を誓い合うセレモニーとして、平成 17 年 11 月 22 日に近代科学資料館前で「坊ちゃん、赤シャツ 100 年目の和解」が行われた。また、同日には 1 号館 1 階ロビーにおいて「坊ちゃん」と所縁の深い松山市の特産物を扱った松山市フェアも開催され、大盛況をおさめた。



赤シャツ扮する塚本理事長と坊ちゃんとの固い握手。



坊ちゃんと赤シャツ 100 年目の和解。



1 号館 1 階ロビーでの松山市フェア。小説「坊ちゃん」の舞台、松山市を代表する数多くの特産物が並べられた。

〈イルミネーション〉



神楽坂キャンパス2号館前に飾られた学生企画団体による手作りのイルミネーション。キャンパスを明るく彩った（H17.11.下旬～H18.6）。

【野田キャンパス】

〈看板設置〉



野田キャンパスに設置された125周年記念の看板（H18.1～H19.3）。

〈フーコーの振り子〉

創立125周年記念を迎える1年前の平成17年6月13日に新講義棟でフーコー（Foucault）の振り子の実験が行われた。

フランス人科学者フーコーは、1851年に振り子を使った公開実験で地球の自転を証明した。これは、物理学的にも大きな意味をもつ実験だった。



2号館前にも振り子が設置された。



実験クイズの様子。一定時間経過後の振り子の揺れる向きを予想し、そこに付箋を張って、最も近かった人が優勝。

〈125周年記念提灯〉

野田校舎1号館、カナル会館の外周に記念の提灯を掲げる計画が立てられ、平成18年4月から6月までの2ヶ月間、提灯が掲げられた。



祝賀ムードを盛り上げた記念提灯。

【長万部キャンパス】

〈イルミネーション〉

長万部町が主催する「ファンタジックおしゃまんべ」というイベントでイルミネーションが公開された。



平成17年12月から平成18年2月まで冬の夜を鮮やかに彩ったイルミネーション。



イルミネーションの前に立つ理科大生たち。

【久喜キャンパス】

〈ラッピングスクールバス〉

久喜駅と久喜校舎間を往復するスクールバスにイメージキャラクターの坊ちゃんと記念行事開催日をあしらって、本学創立125周年をアピールした。



